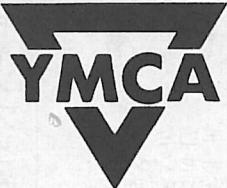


創立1880年



東京YMCA

2009 7/8月号

発行所 東京キリスト教青年会 発行人 廣田光司
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

東京YMCAの使命



英語を楽しく学ぶ—ENGLISH CAMP

西東京コミュニティセンターの「ハローライングリッシュキャンプ」（2泊3日・児童～小学生）は、「お勉強ではなく、楽しみながら英語やその国の文化に触れよう！」の趣旨のもとに行っている英語キャンプである。ネイティブ・スピーカーと触れ合いながら、キャンプ 자체を楽しむことで、教室での学習はない楽しさを感じながら、英語

「そこ」には、日本語を
り話すことの出来ない
人ボランティアがいて

まる人がそれを吹き飛ばして
くれる。“ハローー！”など
と簡単な単語で話しかけ、
抱きついで遊ぶ姿に、大人
たちの方がアイスブレーク
(緊張が解ける)された感
じだ。また、キャンプ場と
いう場所の魅力も加わっ
て、子どもも大人も、みんな
が一つのキャンプ家族の
ようになつていて。

doing) といわれる。YMCAだからこそ出来る非日常的体験の中で、英語という異文化に興味を持ち、それを楽しみ、眞の意味で国際感覚を持つ青年に育っていくことが、YMCAが担う大きな使命のひとつではないだろうか。今年の夏も多いの子どもたちが、異文化体験をしながら国際人として成長してくれることを願っている。(2面へ)

「ここにはいくつかの反対論がある。」論理的に話せる母語学の修得が先だ。」英語では世界の半分の人とか通じない」などである。経験から言えど、英語圏では英語は重宝であるが、それ以外では空港と外国人用のホテルなどを除けばまず通じないのが普通である。

▼ 外国に行くと英語が通じるようになるという収穫があるが、もつと大きな収穫

キャンプで異文化体験



西東京コミュニ
ティーセンター
井口 真

ローリングポートなどの「カットやスライス」など、プログラムと一緒に楽しむの 普段のキャンププログラムに加え、楽しみながら英語である。

ソシアス・フォーラム2009
Y M C Aの未来と一緒に
考えましょう。
日程：10月23日（金）
～24日（土）
場所：高尾の森わくわく
ビレッジ
お問い合わせ
会員部：03-3615-5568

語といつとま
ず英語で、中
学校から英語
の授業が始ま
る。厳密には、
外國語の授業
が必要なのだ
が、英語以外
の外國語を教えている中学